

処方情報HL7 FHIR記述仕様

ご意見	ご意見に対する回答
<p>バンドルリソースに電子処方箋CDA記述仕様書 ver. 1にある「補足情報セクション」を追加して欲しい。</p>	<p>本仕様は処方の情報を記述するものとして位置付けており、処方箋を運用する際にあればよいとされる処方情報以外の診療関連情報をどのように付与して運用するかについては言及しない方針としています。このことは本仕様の3章に「業務の中で運用するには、他にもさまざまな仕様の取り決めと運用ルールの作成が必要であり、本仕様書では対応していないことに、十分留意すべきである。繰り返しになるが、電子処方箋のFHIR仕様ではない。」と明記しています。ご指摘の補足情報は、処方箋を運用する際に供覧できるとよい他の診療情報を添付するのが主な目的であると思われませんが、どのような情報をどのように添付するかを決めずに、ただ入れる場所だけ作成しておくのは仕様として適当でなく、その領域に本来想定しない情報を詰め込んだ運用を惹起しかねないと考えられます。また、FHIR仕様は、検査結果や治療情報など他のさまざまな診療関連情報を処方情報そのものにつけるのではなく、独立して処方とともにバンドルリソースとすることが容易に可能ですので、本処方情報仕様にあえてそのセクションを用意する必要はないと考えられます。むしろ、必要に応じてBundleを作成するようにして運用するほうが柔軟性や拡張性が高いと考えられます。そのため、本仕様では現段階では補助情報セクションは追加しない方針とさせていただきます。</p>
<p>ExtensionのCanonical Nameが、HL7 FHIR JP Core実装ガイド<Draft Ver.1>の仕様通りになっていない箇所があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ExtensionのCanonical Nameについては、URIの階層にExtensionをいれる。 ・ Extension名内にはatを使わず、MedicationRequest_DispenseRequest_InstructionForDispenseのようにアンダースコアで連結する。 ・ アンダースコアで連結される要素の第1要素は必ずリソース名またはcomplexデータタイプ名とし、そのあとにElement名をアンダースコアで連結し、最後に出現するアンダースコアの直前の要素が、そのExtensionがぶら下がる対象のリソース、データタイプまたはそのElementとなるように記述する。 	<p>JP Coreの記述仕様に合わせて修正します。</p>
<p>表 8 Organization リソース 処方医療機関情報で、点数表コードのuriが "http://jpfhir.jp/fhir/ePrescription/StructureDefinition/OrganizationCategory" となっており、JP Coreの記述仕様に従っていないものが残っています</p>	<p>第2項の通り、JP Coreの記述仕様に合わせて修正します。</p>
<p>データ型について interger decial ⇒ decimal スペルミスでは？</p>	<p>修正します。</p>
<p>データ型について uri 断片識別子⇒フラグメント識別子のほうが一般的にわかりやすいと思うがいかがでしょうか？</p>	<p>修正します。</p>

処方情報HL7 FHIR記述仕様

ご意見	ご意見に対する回答
<p>データ型について instant 人間の時間用 ⇒ date,dateTimeにある「人間のコミュニケーションで使用される日時」という言い方のほうがわかりやすいのでは。</p>	<p>修正します。</p>
<p>データ型について id 「。」⇒「.」ピリオドが自動翻訳によって変換されてしまったのでは？</p>	<p>修正します。</p>
<p>データ型について unsignedInt 非負整数型 ⇒ 符号なし整数型のほうが一般的では？</p>	<p>修正します。</p>
<p>データ型について uuid GUIDとUUIDの包含関係が逆では（FHIR本家も間違っているように見えます）</p>	<p>ご指摘のように過去には、GUIDはMicrosoft提唱のもので、UUIDのひとつであったようです。一方で現在は事実上は内容は同一となっています。そこで、「（GUIDの一種）」という記述部分を削除することとします。</p>